



板橋ともゆき 市政レポート

2010

Itabashi Tomoyuki Report

vol.22

川口市・鳩ヶ谷市法定合併協議会の設置について



昨年の12月24日に設立された川口市・鳩ヶ谷市任意合併協議会は、現在まで10回（9月28日が11回目）にわたり開催され、大方の合併協定項目がまとまりました。

本市では、市民及び各種団体に対し、6月末からおよそ1カ月にわたって、合併問題に関する説明会を各地区、団体毎に開催しました。説明会では、これまで任意合併協議会で協議された内容を説明し質疑応答が行われました。

また、会場において実施したアンケート調査並びに、無作為抽出した2,000人の市民を対象に、郵送によ

るアンケート調査も実施され、回答があった1,695通のアンケート調査表を集計した結果、「合併を進めるべきである」と回答した方の割合が35.0%となり、「どちらかといえば合併を進めるべきである」と回答した方を合わせると64.7%の方が合併を進めるべきであるという意見でありました。一方、「合併を進めるべきではない」とまたは「どちらかといえば合併を進めるべきではない」と回答した方の割合は、全体の14.9%でありました。

このうち、郵送によるアンケート調査では、回答があった724通のうち、68.4%の方が、合併を進めることに肯定的なご意見でありました。

これらのアンケート調査の結果から、市長は、鳩ヶ谷市との合併については市民から一定の理解をいただけたものと判断し、この結果を民意として真摯に受け止め、合併についてさらに具体的な協議を進めていくために、9月市議会定例会に、川口市・鳩ヶ谷市法定合併協議会設置の議案が提案され議会としても可決されたところであります。

今後は、鳩ヶ谷市の選挙動向を注視しながら慎重に事を進めていければと考えています。

出前市政報告会!

板橋ともゆきは、一人でも多くの市民の皆様にも市政の現状や課題をお伝えするため、出前市政報告会を行っています。「川口市政、市議会に言いたい事がある。」など、報告にとどまらず、ざっくばらんな市政について意見交換が出来ればと思っています。

ご希望の方は、メールかFAXにてご連絡下さい。お待ちしております。



平和都市宣言25周年記念事業について

今年、本市が核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願い、「平和都市」を宣言してから25年目を向かえます。我々は、悲惨な戦争の教訓と恒久平和を願う想いを次の世代にしっかりと継承していかなければならない責任を改めて感じるところです。この度、平和都市宣言25周年を記念し、青木町公園内に「平和記念碑」を設置し、



青木町公園

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭

今年で第7回を迎えた本映画祭は、去る7月23日から8月1日の10日間、SKIPシティを会場として開催されました。今回は、昨年を上回る8,161人の入場者に恵まれ、また、この映画祭に作品を応募してきた85の国と地域は過去最多となり、これは昨年の東京国際映画祭を上回る参加数であり、本映画祭は、国内最大規模の映画祭に成長しつつあるといえます。

今回の映画祭には、国際コンペティションである長編部門に648作品、これに国内コンペティションである短編部門の162作品を合わせて810作品のぼる応募があり、厳正な審査の結果、長編部門ではジョルジョ・ディリッティ監督のイタリア映画「やがて来たる者」が最優秀作品賞に輝いたほか、完山京洪（かんやまけいひろ）監督の日本映画「Seesaw」（シーソー）がSKIPシティアワードを獲得し、彩の国ビジュアルプラザ内の映像制作支援施設・設備を一定期間利用できる特典を手に入れました。

また、短編部門においては、檀拓磨（だんたくま）監督の「隣人ルサンチマン」が最優秀作品賞及びSKIPシティアワードに輝き、他の奨励賞2作品と

平和都市宣言文と併せ、市民から寄せられた「平和へのメッセージ」の中の1篇を記すべく準備を進めています。そして、来る10月16日に同公園で挙行される川口市戦没者追悼式において、記念碑の除幕式を執り行い、核兵器の廃絶と世界の恒久平和への願いを、この平和記念碑に託す事業を合わせて予定しています。また、平和記念碑の設置を期して、昭和30年代に開設されて以来、市民の憩いの場として、また、市民スポーツの拠点として親しまれてきた青木町公園の愛称を「青木町平和公園」とすることになりました。より多くの市民の皆さんが、戦争の悲惨さを心に刻み、平和の尊さに想いを馳せる地になればとの思いが込められています。

乳児家庭全戸訪問事業について

最近では、核家族化、少子化の影響により、子育て家庭が年長者や近隣から適切な支援を受けることが難しい状況となり、このため、子育てに対して不安感、負担感を抱いている親御さんが多くなっています。

本市では、こうした子育て家庭を支援するために、10月から新たに「乳児家庭全戸訪問事業」いわゆる「こんにちは赤

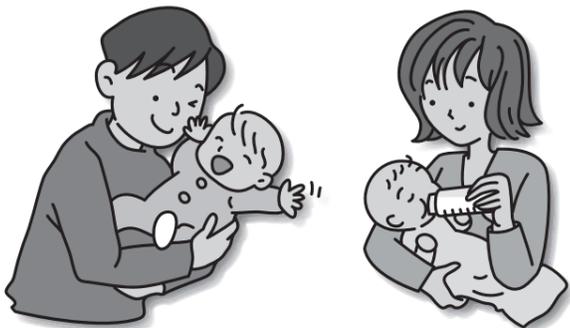
もに、新人クリエイターを支援する「川口市民賞」が授与されました。さらに、新しい試みとして、目や耳の不自由な方も楽しんでいただけるバリアフリー上映、地産地消をテーマにしたシネマカフェなど、新企画を満載しての開催となり関連イベントを含めた総来場者数は4万人を超え、例年にも増して多くの来場者で賑わいをみせていました。



川口駅前キャンパンプレゼンツ

前回レポート（vol.21）でも報告させてもらいましたが、本市では、この事業の一環として、これまでキャンペーンロゴを決定するとともに、本庁舎内での本市魅力スポットのパネル展示や、東京ドームでの川口オートレースPRイベント、SKIPシティ国際Dシネマ映画祭及び

ちゃん事業」を開始することになりました。本事業は、概ね生後4カ月までの乳児がいる家庭約5,000世帯のうち、すでに妊産婦・新生児訪問等を受けている世帯を除いた約3,000世帯を対象として、今年度はその半数の約1,500世帯を訪問し、母子の心身の状況や養育環境等を把握するとともに、育児等の様々な不安や悩みに対し、子育て支援に関する各種情報の提供、指導及び助言を行うものです。特に、産後間もない母親は出産時の疲労に加えて、新たな育児により心身の不安定な時期にあり、このことが虐待発生の要因の一つともなわれていることから、この訪問を契機に、子育て家庭と地域社会を結び付けることにより、子育て家庭の孤立化を防いで、ひいては虐待等の予防にも取り組むものです。



次代を担う大切な子どもたちの健やかな成長を支援していく事業と言えるでしょう。

ただ祭りに関するPR活動など、様々な機会をとらえて本市の情報発信をしております。更に、本市に対する人々の関心を常に喚起し、ニーズを把握し、満足度を高めることが極めて重要であることから、これらを実現するための基盤として、インターネット上に誘客情報サイトを設置することにしました。この誘客情報サイトは、市内各地域で行われるイベントやまち歩き、史跡巡りとといったモデルコースについて地理情報を活用し、誰もが容易に行くことができよう表示するとともに、個人、商店街、観光協会などからの幅広い地域の旬の情報を掲載するほか、利用者からの口コミ情報や体験レポートを掲載するなど、人々の多様な嗜好に応じて、楽しんで参加できる仕組みとするものです。また誘客を促進するため、一目見て「我がまち川口」をイメージできるような、本市ならではのシンボルキャラクターを設定することになっていきます。



川口駅前

twitter (ツイッター)

始めました!

http://twitter.com/itabashi_tomo



板橋ともゆき プロフィール



昭和36年11月4日 東本郷生まれ
血液型:B型 中央工卒
資格:宅建 2級建築士
不動産コンサルティング技能登録者
ファイナンシャルプランナー (AFP)
平成15年市議初当選 (3194票)
平成19年市議2期目当選 (3918票)

市議員に出来る事は何なりとご相談ください!



板橋ともゆき事務所

〒334-0061 川口市新堀841番地

TEL.048-281-5246 FAX.048-285-9644

e-mail itaba-fp@sainet.or.jp

携帯でサイトへ!

各社のバーコード対応機種でご利用出来ます。



ご意見・ご要望を下さい!

市政全般について、板橋ともゆきについて等、どんなことでもかまいません。
ざっくばらんなご意見・ご要望をお待ちしています!

F A X

送信用紙 048-285-9644

◆ご意見を記入して下さい。

Form area with horizontal lines for writing comments.

フリガナ
お名前

住所 〒

電話番号

FAX 048-285-9644